

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471504542		
法人名	株式会社 ユニマツト		
事業所名	福山ケアセンターそよ風		
所在地	広島県福山市松永町三丁目21番70号		
自己評価作成日	平成23年10月6日	評価結果市町村受理日	平成24年1月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南1丁目11-31-201
訪問調査日	平成23年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームそよ風は尊厳を大切にお一人お一人に寄り添い、家庭的で明るく笑顔の絶えない日々が送れますように願っております。又、スタッフのコミュニケーションを密に計り、情報の共有に努め心ある介護ができるよう心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

食の楽しみをもってもらえるよう完食を目標とし、誕生日会や食事会には手作りでお食感のような趣向を凝らした本格的なメニューで利用者も喜んで食されていた。献立の説明や利用者が書かれたお品がきを添えられ、食事への関心を引き起こす工夫がされている。利用者同士が支え合う場面もあり穏やかに過ごされている。自らが受けたいケアに徹し、利用者へ寄り添い心ある介護に努めている。家族に月1回個別の状況報告を行い、又、日頃から何でも言ってもらえるよう関係努め、行事の参加率も高く良好な信頼関係を築かれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の捉え方がそれぞれ違い、日々の支援に活かされていない。スタッフが共通認識として理念を捉え、入居者様を支援していきたい。	基本理念、基本方針、品質方針を朝礼時復唱し手帳を各自が携帯している。職員とともに考えたユニット理念を見える場所に掲示し日々のサービス場面で振り返り、実践にするよう心がけている。	
(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事などで来訪してもらってはいるが、地域への浸透はまだまだで、今後も取り組んでいく必要がある。	事業所で行う行事(陶芸教室、認知症サポーター養成講座など)に積極的に参加していただけるように回覧等を通して働きかけ実際に参加が得られている。老人会や町内会集まりは事業所の会議室を利用して頂き、交流の一環とされ、今後も積極的に交流を行っていく予定である。	
	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に向けた具体的な支援は実施できておらず、発信していく必要がある。		
(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	忌憚のないご意見を頂いていると思います。またいただいたご意見をサービス向上に向け活かしています。	定期的実施され、各出席者から様々な意見を頂いている。事業所の状況報告や災害対策について議題とされ意見や要望について、サービスに活かしていく取り組みがされている。	
(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者の方へは、運営推進会議には参加して頂いているが、頻繁に行き来する機会はなく、不十分な面がある。	現時点では市町村との連携は十分取れているとは言えない。	運営推進会議に出席して頂く中で顔見知りの関係ができていますので事業所現状を伝えながら協力関係が得られる取り組みに期待したい。
(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないことを原則とし利用開始時重要事項説明書に明記され家族に説明をされている。危険防止に配慮し見守りや工夫をして日々取り組むとともに全体ミーティングで職員間で話し合い意識付けをしている。	
	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で委員会を立ち上げ虐待について学ぶ機会設けているが、外部の研修にも参加しスキルアップしていきたい。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在の所、必要な方がおられないので行っていない。		
	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際は管理者若しくは請求担当者が応じ、十分な説明を行っている。また、不安や疑問点に関してもその場で丁寧に対応している。		
(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。また面会時には、日頃の様子をお伝えしたり、要望をうかがい日々の支援や運営に活かしている。	月1回個別の状況報告を詳細に伝えることや利用者を思いやるケアの統一をしていくために何でも遠慮なく言ってもらえるよう日頃から口頭でお願いしている。行事にほとんどの家族が出席して頂けるためその中でも話している。意見や要望は申し送りノートで共有し結果について伝えている。	
(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニットミーティング、管理者会議等で職員の意見や提案を聴く機会を設けている。また月1回、産業医の訪問があり職員の心のケアにあたっている。	ユニット会議やミーティングで意見や要望を聞きとっている。また個別にリーダーが聞き取ることもある。産業医の月1回の訪問もあり様々な機会を通して聞くよう努め、反映させている。	
	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者・ユニットリーダーは、職員の勤務状況の確認と把握・精査しており、個々の実績評価を行っている。		
	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップを目的に法人内外の研修参加を推進しているが、機会が少なく殆どの職員が参加できていない。		
	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、取り組みができていない。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面接を実施したり、実際に入所予定のユニットや居室を見学して頂き、安心して入居できるよう努めている。		
	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接の際は、じっくりとお話をさせて頂き、ご家族様の思いを受け止め、安心して頂けるよう心がけている。		
	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面接の際、ご家族様の必要とされている支援がグループホームではなかった場合は、介護支援専門員を通し他のサービス利用を検討している。		
	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のできない事や難しい部分は介助し、本人様の持っている力の維持に努めている。また、家事やレクリエーション、ドライブ、食事等の日常生活を共にする中で、馴染みの関係を築かれている。		
	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	スタッフは本人様・ご家族様をつなぐ、中間的存在として位置し、お互いの思いを受け止め、関係の維持に努めている。また一緒に本人様を支えていく関係を大切にしている。		
(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方やご友人が訪ねて来られた際はゆっくりお話ができる環境を整えたりしている。また、地域のサロンに通われたり、入所前の生活の継続に努めている。	友人や知人の訪問もあり馴染みの美容院に行き馴染みの関係が途切れないよう支援している。訪問しやすい雰囲気にも努めている。	
	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士、会話がつながるように働きかけたり、居室のあるユニットに拘らず隣のユニットへ自由に行き来し、孤立防止に努めている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もお手紙や連絡を頂く事があり、関わり合いを大切にしている。		
(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中、言葉や行動、表情により一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。また困難な場合は、その方に寄り添い時間をかけて思いや意向の把握に努めている。	日ごろの信頼関係を円滑にし、何気ない言葉や表情で察知している。居室や入浴時で1対1になる場面でゆっくりと思いを聞き取ることもある。日々の生活でおおよその流れは決まっているが柔軟に対応している。	
	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員全員が入居者様一人ひとりの情報を把握し、情報を共有することにより、統一介護ができるよう努めている。		
	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録に残すと共に、口頭での申し送りや申し送りノートを使用し、職員全員が情報を共有し把握に努めている。		
(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族様の意向を元に、ケアプランを作成している。また、全スタッフでモニタリングを行い、それに基づきケアマネージャーや計画作成者が評価をしている。	モニタリングを基に担当者会議を開き、課題について話し合い計画を作成されている。現状に応じて定期的に見直しを行い家族の承諾を得ている。	
	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録をきちんと記入することや、朝夕の申し送りを必ず行い、職員全員で情報を共有している。また、毎月のミーティングで支援の見直しを行いプランに反映させている。		
	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスやショートステイと合同で行事を行い交流している。花見や外出には施設の送迎車を利用し出かけている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元のタクシー会社に協力して頂き、入居者様一人で病院受診をしたり、サロンに通われ、その方の心身の力が発揮できるよう支援している。		
(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の委託医の往診がある。また、本人・ご家族様の意向に沿い入所前のかかりつけ医の受診支援をしている。	かかりつけ医や他の診療科目の受診支援は家族が同行しているが状況により事業所で柔軟に支援されている。協力医療機関の往診の支援が週1回あり休日や夜間についても安心な連携が取れている。	
	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個々の入居者様の状態変化を看護師に報告し、主治医の指示を仰ぐなど適切な対応がなされるよう支援している。		
	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には情報提供を行い、適切な処置が受けられるよう努めている。また、看護師を通し早期退院に向けた話し合いを行っている。		
(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りはまだ行った事がなく、ハード面の体制も整っていない。個々に応じた看取りや重度化に対する指針作りを本人・ご家族様・かかりつけ医・職員で話し合い、態勢を整えていきたい。	今までは医療面の必要性で病院に入院されるケースがほとんどであった。	家族の意向を聞き、職員とともに状態変化に応じた繰り返しの話し合いはされるとともに医師とも連携をとり、事業所のできることにについて再度話し合いをされ、方針を共有されることが望ましい。
	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を受講し、急変時の対応に備えている。		
(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	隣接の消防署の協力・ご指導の下、避難訓練を行っている。また施設の属している自治会の協力をお願いしている。地主の方より避難場所を提供して頂いている。	訓練を定期的に行い実施避難方法、経路の確認などを行い又、ユニットフロアーに避難方法を掲示し普段から意識付けをしている。地域の協力については運営推進会議の中で議題とされ町内に協力してもらえ体制作りをされている。夜間想定訓練は未実施であるが今後実施していく予定となっている。	

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉や態度によって入居者様の自尊心を傷つけないよう支援している。	人格を尊重し利用者にあった言葉かけをしている。居室に入る場合も利用者のプライバシーに配慮し必ず声かけをするようにしている。接遇の研修で職員の意識を統一している。	
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の重要性を全職員が理解し、入居者様が思いや希望を表現できるようわかりやすく説明したり、選択できるよう努め、“待つ”という事を大事にしている。		
	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の体調や思いに合わせ、起床・就寝時間や食事時間・入浴日や時間を調整し支援している。		
	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容に関しては、地域の理美容師の方々が定期的に出張訪問して下ったり、行きつけの美容室に行かれる方もいらっしゃいます。また、化粧品や季節に合ったぼうしを買いに出かけられ、スタッフが同行する事もあります。		
(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、美食祭りがあり季節感のある食事を楽しんで頂いたり、誕生日には、お弁当を取り目先を変えた食事の提供をしている。またスタッフが、入居者様と同じテーブルで食事をしたり、後片付けを一緒に行っている。	誕生日など月に数回事業所で趣向を凝らした食事を手作りされ利用者が書かれたお品書きや箸置きも添えられ見た目も大切に食を楽しむ工夫がされている。職員は利用者と同じテーブルを囲み和やかな雰囲気ですれ利用者も喜ばれている。	
	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態や力・習慣に合わせ、量や糖分・形態の調整を行ったり、栄養・水分補給を行っている。		
	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけや介助を行い、口腔内の清潔保持に努めている。また、歯科医の往診があり、口腔内の清潔保持と義歯の調整をして頂いている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握した上で声かけや誘導を行い、極力おむつに頼らない生活を支援している。	日中はトイレでの排泄を大切にしパターンを把握して誘導を行っている。細やかな対応をされた結果改善されたケースもあり個々の沿ったの支援がされている。	
	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分量、食事内容に気を配っている。		
(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	できる限り希望に沿えるよう心掛けている。	本人や家族の希望をくみ取り毎日入浴される方もる。入浴を拒まれる方に対しては無理強いせず足浴等で対応し清潔保持に努めている。入浴方法は個々の状態で選択ができる。	
	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中30分～1時間程度横になり、身体を休めて頂いたり、夜間は照明や室温に気を配り安眠できるよう気配りしている。		
	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	委託医より処方薬においては、薬局の方よりその都度説明して頂き理解している。臨時薬や心療内科より処方薬に関しては、ご本人様の様子を観察し、看護師・医師に相談し指示を仰いでいる。		
	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事を手伝って頂いたり、野菜や果物作り・収穫、趣味の披露(お唄や琴・お茶会)の場を設けている。また、ドライブや季節の行事(花見・母の日・父の日・夏祭り・敬老会・クリスマス)などを通し気分転換の支援をしている。		
(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	両ユニット合同でドライブや外出レクリエーションを行い、小旅行の気分を味わえるような企画を実践している。	遠方や近所にドライブしたり、買い物や喫茶店に出かけることもあり、気分転換や季節を感じてもらおう機会をもっている。家族に声をかけし外出することもあり、外出を通して家族との交流を大切にしている。	

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい物があればスタッフが同行し、買物に行っている。		
	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけられる際はそばにて見守りし、必要に応じて支援している。		
(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフローアには季節に応じた花や飾り付けを行ったり、入居者様が作成した作品を掲示したりしている。	リビングから各居室が見え季節の花や利用者が作った作品が飾られ採光や温度も適度が保たれ落ち着いた空間である。	
	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士で話せるよう、食卓とは別にソファを置いている。		
(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を味わって頂けるよう、馴染みの品物を持ってきて頂いている。	居室はテレビや写真、絵画等が飾られ好みの家具もありそれぞれ利用者が使い易い配置がされている。	
	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札やトイレや浴室などわかりやすく表示している。また、床のフラット化や手すりを設置し安全面に配慮している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	市町との連携	情報を頂き質の高いサービス提供ができる。	毎月発行のそよ風便りをお持ちし、情報を頂いたり相談したり交流を持つ。	H24.2月より
2	7	職員を育てる取り組み	内外の研修に参加 一層の知識を習得し質の高いサービスを提供する。	・研修への参加 ・介護福祉会、ソーシャルワーク連絡会等の研修へ参加	H23.12.15・H24.1.12参加 済 随時参加
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。